

ふる里からの

『ふる里だより』

11月号

今年の指針
“常に”



あかるく やわらかく やさしく

社会福祉法人 隆明会
デイサービスセンター ふる里

長崎県 大村市 亀橋町 1416番地

TEL (0957) 27-4500

FAX (0957) 27-4501

HP検索: [デイサービスセンターふる里](#)



『“鉄道 150 年。実は鉄道の始まりは長崎でした！”』

♪汽笛一声 新橋を 早や我が汽車は離れたり…♪ 皆様ご存じのこの歌は、「鉄道唱歌」です。1872 年、明治 5 年の 10 月 14 日に『新橋〜横浜間』を鉄道が走り始めました。1 日 9 往復で、速度は時速 32.8km/時、距離は 29.0km、所要時間は、53 分だったそうです。沿線では人だかりがすごかったでしょうね。鉄道が走り始めて今年は、“**鉄道 150 年**”になります。

“**鉄道 150 年**”の記念する日の新聞に“日本で初めて実物の蒸気機関車 (SL) が走ったのは長崎だった。”との記事が掲載されていました。驚きです。60 年以上長崎県民として生活してきて初めて知りました。記事の中身は、「1872 年に新橋〜横浜間で鉄道が開業する 7 年前のこと。長崎市の外国人居留地の海岸沿いに線路が敷設され、日本人などを乗せて運行していて、それに関わったのがあのグラバーだった。」「長崎みなとメディカルセンター（長崎市新地町）前にひっそりとたたずむ石碑にはこう記されている。設置者は長崎市。スコットランド出身の貿易商、トーマス・グラバー（1838〜1911）が 1865 年、南方向にレールを敷き、英国製の蒸気機関車「アイアン・デューク号」を走らせた場所、との説明が案内板にある。機関車は 1 カ月ほど運行したとみられる。鉄道が日本に初上陸した地は長崎との歴史は揺るがないのだ。しかし、ただ、この機関車は営業目的ではなく、展示の意味合いが強かった。」と。このことから長崎は、「我が国鉄道発祥の地」で、「鉄道開業の地」はその 7 年後に新橋〜横浜間を走った鉄道のことで、初めての鉄道は、長崎が譲った形になったようです。何の“縁”なのか、“**鉄道 150 年**”の今年の 9 月 23 日に営業開始した『**西九州新幹線**』が、150 年の節目に開通したのは、ものすごい“縁”があるなあと思います。日本で一番初めに走った陸蒸気（おかじょうき）は長崎が発祥。令和になって営業開始一番目の『**西九州新幹線**』。新幹線の中でも距離が 66 キロメートルという日本一短い『**西九州新幹線**』と、このように長崎県の鉄道に関することは一番づくし、初めてづくしなのです。夢は、『**西九州新幹線**』が世界で一番愛される鉄道になったらいいなあと思います。



鉄道といえば、1900 年、明治 33 年に全 7 集・399 番からなる「鉄道唱歌」が発表されました。1872 年新橋・横浜間を走った鉄道開始からわずか 28 年間で、399 路線が建設されたのでしょからものすごい経済の成長ぶりだったんだなあと感心します。皆様方も鉄道に対しての思いが数多く浮かばれることでしょう。私の子供の頃もまだまだ蒸気機関車が主流の時代、いろんな思い出があります。トンネルに差し掛かると急いで窓を閉めたり、早岐駅や鳥栖駅での駅弁販売。3 月、4 月には、大勢の高校卒業生が大都市に向かうのを見送った就職列車、東京まで受験の時に乗った受験列車、その時は夜行列車でした。大村湾で取れた新鮮な魚を売るために乗られた行商列車、などなど列車に関係する思い出は数多くあります。私が知らない列車の利用で最もつらい思い出は、戦争で兵隊になって旅立つ時に乗った列車。または兵隊さんになった我が子や大切な方々を見送った列車など思い出したくない思い出もおありのことでしょう、思い出させてすみません。「ゴッゴッ、カタンコタンカタンコタン」と一定のリズムで走る列車の音を聞きながら眠ってしまうこともありました。動く景色を楽しみながら季節の色や、街の様子に興味を持って眺めていました。シートは、対面で見知らぬ方ともお話ししたり、みかんを頂いたりしてそれはそれは楽しいひと時でした。今、地方の路線が廃止されようとしています。存続を願うばかりです。コミュニケーションが生まれる鉄道、外出したくなるようにこれからも魅力ある鉄道にして欲しいと願っています。湖畔の宿ふる里に入居されている方々にいい旅をしていただけるような、コロナを心配しなくてもいい時代になるよう祈ります。

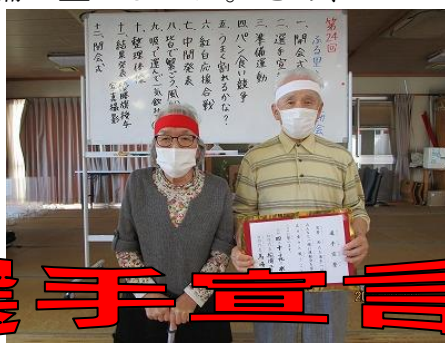
センター長 森 隆敏



10月行事



10月行事は『第24回 ふる里ミニミニ運動会』。今年の運動会は実習中の向陽高校の2人の生徒さんが参加されました。いよいよ競技開始。赤白のプラカードを持っての入場です。最初のプログラムは『開会式』、センター長の合図で“若い力”を参加者全員で斉唱しました。次は『選手宣言』三日間とも利用者さん2人代表で前に出て頂き、力強く声を合わせて選手宣言をされ、競技への心構えが出来ました。次は『準備運動』利用者さんも立ち上がって体操をされ、これから始まる競技の準備が整いました。さあ、いよいよ競技開始です！



選手宣言！

最初の競技は利用者・職員の個人競技、『パン食い競争』！今回用意したパンは、中身がいろいろ、チョコやクリームなどが入っていました。利用者さんもスタート前から闘争心むき出しスタートするや否やすごい勢いでパンへと向かって走って行かれました。パンを紐から取る時口を大きく開けて「一番にとってやるぞ！」という気持ちがひしひしと伝わってきました。中にはいつもは杖を使う方も、付き添っている職員を引きずる勢いで走り、杖が地面から少し浮いてたりして、びっくりするやら、心配やらまるで少年、少女に帰ったように必死に楽しめました。



パン食い競争！



大きな口を開けてキャッチせよ！

次の競技も利用者・職員の個人競技、『うまく割れるかな』です。用意された4脚の椅子の上に風船と針の付いた棒が用意され、スタートして風船を割ってゴールする競技です。風船は輪の上に乗せて転がらないようにしてありましたが、針がうまく当たらないと跳ねてしまいま

す。上手く針に刺さって風船が割れるとパーン！という音で驚く事もありましたが、笑顔で楽しまれていらっしやいました。職員の時は少しルールを変更しました。“よーいドン”スタートして椅子の上に置いてある風船を膨らませ、お尻で割る。割れたらゴールへ！膨らましが足りずに割れなかったり、はたまたなかなか膨らまなかったりといろんなハプニングもありました。利用者さんからは笑いが沸き上がっていました。



三つ目の競技は、『応援合戦』。職員が時間を割いて練習した応援の披露です。利用者さんは、各チームの色のボンボンを持ち一緒に盛り上げて頂きました。職員のダンスの時は手拍子。三三七拍子ではボンボンでと使い分けていらっしやいました。応援の種類も多数あり利用者さんからもとても好評でした。



4 つ目の競技は、利用者さんの団体競技、『皆で繋ごう風船バレー』です。紅組対白組で各チーム一列に並び、スタートの方からゴールの方へ風船を弾いてリレーを行う内容でした。利用者さんの列の前と後ろに職員がサポートに入りました。風船は予測のつかない動きをするため風船が落ちたらスタート位置に戻され、「あぁー！」と声が上がっていました。一番にゴールすると「やったー！」と歓喜の声も上がっていました。



最後の競技は職員の団体競技、『吸って！運んで！一気飲み！で GO！』です。この競技はリレー方式になっておりテーブルに用意されたピンポン玉をストローで皿から皿に移します。そ

れが終わると今度は飲み物をコップに注ぎ、ストローで一気に飲み干したら、廊下を一周して次の人へとバトンをつなぎます。飲み物も豆乳や炭酸飲料、黒酢、青汁などいろいろ用意されさらに盛り上がっていました。



『吸って！運んで！一気飲み！でGO！』



そしていよいよ『結果発表』の時が来ました。一日目は白組が、二日目はなんと！この行事が始まって以来初の同点で**紅白同時優勝！** 三日目は白組の優勝という結果でした。三日間ともに点数の差はほとんどなく接戦となり、とてもいいミニミニ運動会でした。向陽高校の2人の生徒さんも楽しく参加され、一緒に盛り上げて下さいました。来年は記念の節となる第25回になります。これまでの盛り上がりのような大会になるよう頑張ります。

優勝！

おめでとうございます！





行事食&おやつ&参加賞



全員参加の運動会！

古都氏の『第24回ふる里ミニミニ運動会』も全員参加の運動会を感じました。利用者さんを一生懸命にさせる事よりも職員相互が「優勝するぞ！」と、対抗意識を強く持っていたようです。(主役は利



用者さんなのに……。厨房も全面協力で**昼食**は、美味しく豪華な「大人様ランチ」の提供。ライスの真ん中に立った万国旗やふくろうの国旗は厨房の栄養士の力作です。**おやつ**は、3日間違った種類のジュース。とても身体に良い、健康志向の高い飲み物が準備されました。**参加賞**は、お菓子のいろいろで、受け取られた時、利用者様同士、隣の方と“見せ合いっこ”されていました。お菓子に付けた“のし”も職員手作りのもので好評でした。

行事担当 中邑 典子、松永 知子



言方問ボランティア

今回のおはなしの部屋は鐘ヶ江先生、坂仲先生、村部先生の3人の方が来られました。始めに『**キツネとぶどう**』という物語。キツネは木に実ったぶどうが食べたくて仕方ありません。キツネは取ろうと何度も挑戦しましたが取れませんでした。「あのぶどうは、まだすっぱいのさ。」と言ってどこかへ行ってしまう物語です。第二話は『**ばけねこ**』という物語です。主人公の女の子は父親と二人で暮らしています。そんなある日飼っていたねこがいなくなります。父親から猫は年を取ると“ねこみみ山”に行くと聞き犬と一緒に探しに行きます。そこでいろいろな出来事が起こるお話です。第三話は『**ソメコとオニ**』です。ソメコが一人で遊んでいると鬼に攫われてしまいます。しかしソメコは鬼を怖がらず鬼と遊ぼうとします。そしてそんなソメコに鬼が困ってしまい、最後は父親に助けを求めるお話となっています。今回もとても個性的で面白いお話を選んで頂きとても楽しいひと時となりました。次回のお話に心をドキドキさせながらお待ちしております。



在宅介護支援センター ふる里

【在宅介護支援センターふる里】とは…

社会福祉法人として設立され運営している事業です。地域の身近な総合相談窓口として、福祉専門のソーシャルワーカーが安心生活のため様々な相談に応じます。また、地域の老人会や趣味サークルを中心とした団体等に介護予防教室、健康体操、レクリエーションの指導を行い、生活の安心と喜び、地域の活力が生み出されるように取り組んでおります。相談に関する手数料やご利用に係る料金は無料です。

お気軽に皆さまの地域の身近なパートナーとしてご活用下さい。

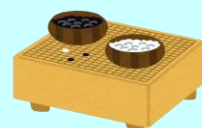


十一月の行事予定



◆ふる里 11月行事 『秋のパンパンパーティー』 11月22日(火)・23日(水)・24日(木)

- ◆生け花教室 ～齊藤マサミ先生～ 10日(木)・30日(水)
- ◆書道教室 ～中村朱実先生～ 3日(木)・21日(月)
- ◆おはなしの部屋～鐘ヶ江先生他～ 17日(木)
- ※1 ふる里おはなしの部屋の時は、**午前中入浴**となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。
- ◆押し花教室 ～中村壽美子先生～ 15日(火)
- ◆麻雀・将棋・囲碁 … 毎週水曜日午後
(2日、9日、16日、30日予定)
- ◆ヒロバンド様演奏会… 29日(火)



～10月の趣味活動の作品～



書道教室



押し花教室



生け花教室



11月になり朝方と夜が冷え込む日が増えてきました。職員も利用者さんも長袖を着る人が増え、寒くなって来たなあと感じます。私も通勤時は長袖の上着を羽織って来ています。送迎時はまだまだ半袖で日中もまだ暖かい日が多く、むしろ暑く感じる時もあります。今後は日に日に冷えて来ますので、風邪やコロナウイルスなどに気を付けて下さい。今月も楽しい月にしていきましょう。 編集後記 田口 真一